

## ATI 公式ドライバを使う場合

<http://www.k2.dion.ne.jp/~mistle/linux/tips/atiRadeon.html>

### インストール

<http://support.amd.com/us/gpudownload/Pages/index.aspx>

から RADEON x1250 シリーズのドライバを落としてインストール。

```
aticonfig --initial -f
```

は問題がある場合のみ実行。

普通は特に問題なく動くはずなので、実行する必要なし。

ATI Catalyst Control Center が開ければ OK。

### 新しいカーネルにインストール

<http://john-doe-memorandum.blogspot.jp/2010/05/linux-centosati-graphics-driver.html>

<http://forums.opensuse.org/english/get-technical-help-here/hardware/446973>

[-please-help-graphics-driver-not-loading.html](#)

新しいカーネルではエラーが出ているので、ソースを修正して再コンパイルする。

```
less /usr/share/ati/fglrx-install.log
```

でログを確認。

```
vi /lib/modules/fglrx/build_mod/kcl_ioctl.c
```

197 行目付近を

```
//return compat_alloc_user_space(size);  
return arch_compat_alloc_user_space(size);
```

に修正。

```
cd /lib/modules/fglrx/build_mod  
make.sh  
cd ..  
./make_install.sh
```

最後に

```
Operation not permitted
```

って出ることがあるが気にしないで、再起動。

状態確認。

DRI の確認

X を再起動し、以下のコマンドをターミナルで入力します。

```
glxinfo | grep direct
```

以下のように表示されれば、DRI は ON になっています。

```
direct rendering: Yes
```

### ベンダー名やボード名の確認

以下のコマンドをターミナルで入力します。

```
$ fglrinfo
```

以下のように表示されます。

```
display: :0.0 screen: 0
OpenGL vendor string: ATI Technologies Inc.
OpenGL renderer string: RADEON 9600
OpenGL version string: 2.0.6334 (8.34.8)
```

### ドライバの確認

以下のコマンドをターミナルで入力します。

```
xdriinfo
```

root で lsmod を使用する方法も有ります。  
以下のように表示されれば OK です。

```
Screen 0: fglrnx
```

### アンインストール

```
/usr/share/ati/
```

下に有る

```
fglrnx-uninstall.sh
```

を起動すればアンインストール出来ます。

```
su
/usr/share/ati/fglrnx-uninstall.sh
```

## ELRepo を使う場合

### ELRepo の設定

CentOS で認識されないハードウェアを使う (ELRepo)  
を参考に ELRepo を設定。

## ドライバインストール

```
# yum install kmod-fglrx fglrx-x11-drv
```

## 初期設定

```
aticonfig --initial
```

再起動。